

『国宝犬山城天守・史跡犬山城跡 保存活用計画』に基づき、石垣などの遺構と眺望に影響を与える樹木、植生に影響を及ぼす外来種を伐採します。

伐採は十分な安全対策を行ったうえ実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。

1. 作業期間 令和6年3月4日（月）～3月25日（月） **犬山城は通常どおり開城します。**
2. 対象樹木（10本）

伐採対象樹木一覧（10本）

識別番号	樹種	樹高（m）	幹周（cm）	伐採理由	樹齢
本121	ムクノキ	10.0	170.0	石垣損傷	65年前後
緑70	アラカシ	9.0	216.0	石垣損傷	85年前後
赤475	ヤブニッケイ	11.0	72.0	眺望不良	25年前後
赤485	ムクノキ	11.0	210.0	眺望不良	80年前後
赤495	ムクノキ	13.0	178.0	眺望不良	70年前後
赤510	ムクノキ	9.0	45.0	眺望不良	15年前後
緑95	ムクノキ	8.9	185.0	眺望不良	70年前後
赤488	トウネズミモチ	2.0	6.0	外来種	5年前後
緑66	トウネズミモチ	3.7	14.0	外来種	5年前後
橙291	トウネズミモチ	3.3	4.0	外来種	5年前後

石垣など遺構に影響を及ぼす樹木とは

史跡犬山城跡の本質的価値の構成要素である石垣やその他の地下遺構に直接的に影響を及ぼす可能性のある樹木のことです。

一般的に水分や養分を吸収する樹木の細根は、樹冠の投影面積と同程度の広がりを持つとされています。

このため、石垣の天端付近に生育している樹木の根の影響も石垣やその他の地下遺構に及んでいる可能性があります。

特に、石垣の場合、複数の要因によって、石垣のはらみやズレが生じ、石垣の安定性が失われ、崩れやすくなります。

地震や強風により樹木（根）が揺さぶられることで、石垣が崩壊することも想定されます。

このため、石垣の変状の有無にかかわらず、速やかに対策を講じる必要があります。

3. 伐採管理の方法（完全伐採と部分伐採）

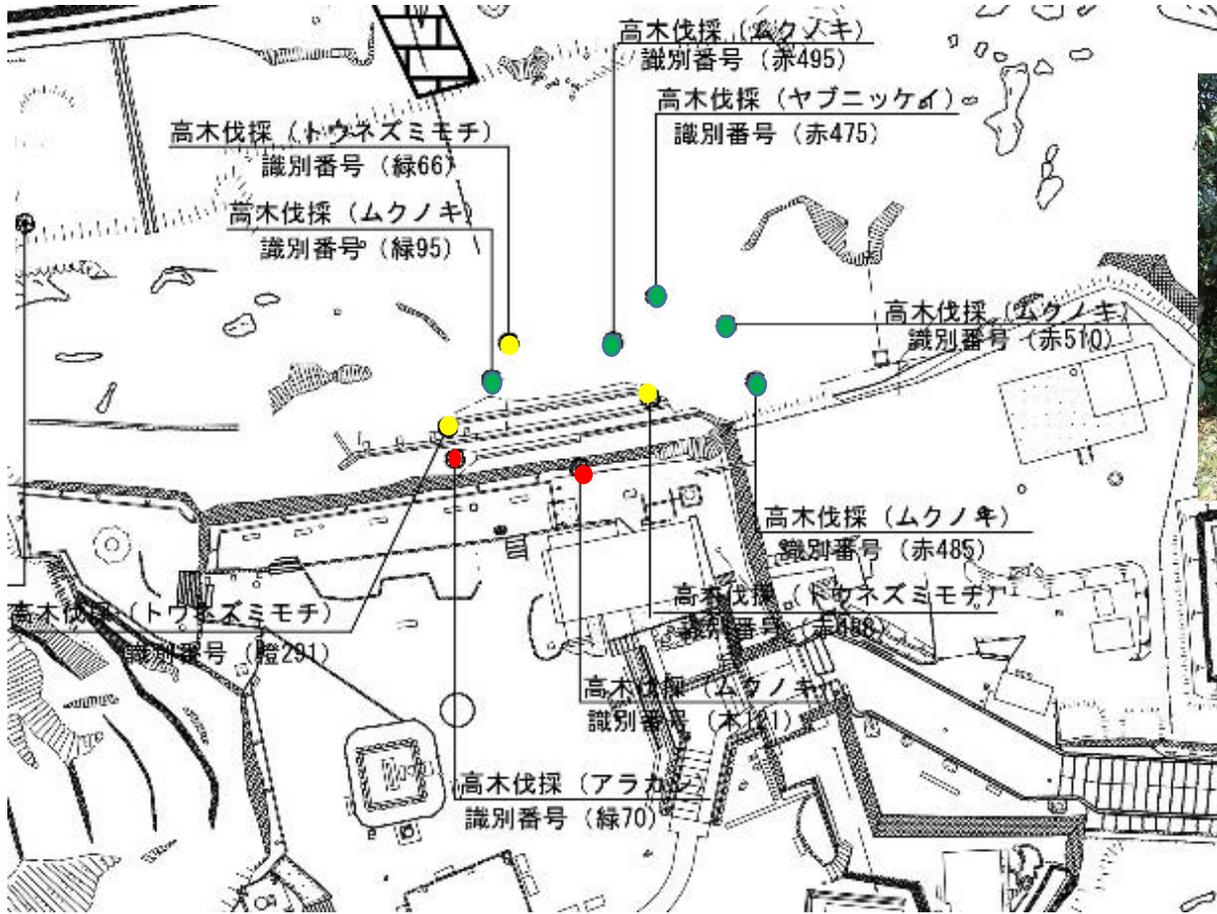
今回の伐採では、石垣損傷樹木と植生に影響を及ぼす外来種は完全伐採、眺望不良樹木は部分伐採を実施します。

- ・完全伐採は、主幹や萌芽枝を含む側枝を全て除去するため伐採位置を根元とし、傾斜地では斜面上側の地際から10cm程度の高さで伐採します。
- ・部分伐採は、伐採位置を主幹や側枝の根元としますが、萌芽枝の出芽を促すため傾斜地では斜面上側の地際から30cm程度の高さで伐採します。ただし、萌芽枝が密生し主幹や側枝が伐採できない場合、萌芽枝を数本残しそれ以外を伐採します。

どちらの伐採方法も伐り口は可能な限り平滑にし、斜面下側にやや傾斜させることで、雨水の滞留とそれに伴う切断面の腐朽の進行を遅らせます。抜根は行いません。

- 石垣損傷樹木 2本(完全伐採)
- 眺望不良樹木 5本(部分伐採)
- 植生に影響を及ぼす外来種 3本（完全伐採）

4. 伐採する樹木の位置図



完全伐採イメージ



部分伐採イメージ

問い合わせ先

伐採に関するお問い合わせは下記の連絡先までお電話をお願いします。

(連絡先)
 犬山城管理事務所 9:00～17:00
 TEL 0568-61-1711